

## 5 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組の実施

障がい当事者が生涯学習を継続するためには、在学中から様々な学びに参加し、学ぶ楽しさや知る喜びを得て、学校卒業後も趣味、教養、スポーツ、文化に積極的に触れたり、資格取得等の学びへの意欲付けを行ったりすることや、地域における学びの場での受入体制の整備が必要である。

### ① 特別支援学校の児童生徒の卒業後の学びへの意欲向上やイメージづくりに向けた学校及び地域への働きかけ

#### ○北海道札幌あいの里高等支援学校

- ・取組名：あいcircle
- ・内 容：学科製品の販売、カフェ営業、ステージ発表等、地域の団体と連携・協働して実施するイベント

#### ○北海道真駒内養護学校

- ・取組名：地域を共に進める取組・協働活動
- ・内 容：フラワースマイル作戦、一日防災学校など、地域と連携・協働した学びと交流の機会

#### ○北海道教育大学札幌校

- ・取組名：みんなのあそびば
- ・内 容：運動の得意不得意、年齢、障がいの有無などに関わらず、安心して楽しく誰でも一緒に遊ぶことをコンセプトにしたイベント

#### ○北海道文教大学

- ・取組名：チャレンジド教室
- ・内 容：障がいのある児童・生徒を対象にした学校外の学びや居場所を生み出すための講座

### ② 特別支援学校の学校運営協議会や障がいのある児童生徒の保護者が集う機会における情報提供

#### ○北海道真駒内養護学校

- ・第2回 学校運営協議会 令和6年11月6日（水）
- ・第3回 学校運営協議会 令和7年2月25日（火）

○北海道札幌あいの里高等支援学校

北海道特別支援学校地域連携・協働推進事業

特別支援学校地域連携・協働推進事業



令和6年度  
第1回

# あいcircle

# あいcircle

2024.7.13(土) in 北海道教育大学札幌校



O Kairi

あいcircle = 様々な人が集まる場。支援学校、大学、企業、事業所など色々な団体が集まります。誰でも参加でき、参加者一人一人が主役となって活動するイベントです。

地域のつながる・広がる・深まる  
あいの里の魅力発信

日時 令和6年7月13日(土) 10:00~14:00

場所 北海道教育大学札幌校 正面入口付近  
札幌市北区あいの里5条3丁目

主催 北海道札幌あいの里高等支援学校  
共催 北海道教育大学札幌校  
後援 北海道医療大学

詳しい内容は  
札幌あいの里高等  
支援学校のHPで  
お知らせします

学校だけではなく、地域、企業や事業所の方など、様々な方が一緒に活動・交流する場を目指しています。みなさまの参加をお待ちしています！



【10:00~12:00】

工藤がら星  
けざらん  
ハーベストガーデンズワンペーカリー  
やすらぎの里CoCo  
ミライウ・チセ  
クレバ  
天野通信株式会社  
北海道新聞あいの里販売所  
晋久屋製菓  
日本保健福祉ネリスト協会札幌校  
札幌あいの里高等支援学校  
環境・流通サポート科  
健康デザイン科、福祉サービス科

【12:00~14:00】

作業所きたの  
POPCORN CAFE  
COCO'K  
おの系GALAXY  
スイーツピース  
スイーツDeco!いるむ  
ぷちりーべ  
新編洋高専附属学校 商業科  
札幌あいの里高等支援学校  
生産技術科、食品デザイン科

【10:00~14:00】

ウェルネスコア札幌  
とれた小園ふじい農場  
北海道教育大学札幌校  
北海道医療大学  
札幌あいの里高等支援学校  
普通科、PTA  
キッチンカー各種



♪発表♪

- 10:30 北海道教育大学札幌校 遠自吹奏楽団
- 11:00 札幌盲明高等支援学校 和太鼓部
- 11:30 北海道教育大学札幌校 [kapela]
- 12:00 札幌あいの里高等支援学校 音楽部
- 12:30 新編洋高専附属学校 ダンス部
- 13:00 サッポロインディゴ・ウインズ

※ 札幌あいの里高等支援学校 普通科  
[アンケート調査]

- ★アクセス★  
北海道教育大学札幌校  
(札幌市北区あいの里5条3丁目1番2号)  
【車で来校の方】  
第1駐車場-北海道教育大学札幌校  
第2駐車場-札幌あいの里高等支援学校  
【公共機関利用】  
あいの里教育大駅  
【バス】  
線24あいの里教育大線  
定23駅前-教育大線

主催：北海道札幌あいの里高等支援学校 共催：北海道教育大学札幌校 後援：北海道医療大学、北海道新聞社

○北海道真駒内養護学校

## 高等部総合的な探求の時間の様子 ～フラワースマイル～

【3年生】精進川沿いの花壇には、自分たちで花の配置を考えて苗の定植をしました。精進川美化緑化の会の方に、飾り方や植え方のアドバイスをいただきながら、一つ一つ丁寧に作業して綺麗で美しい花壇に仕上げることができました。

フラワースマイルの活動も今年で7年目になりました♪

今年も精進川美化緑化の会と、市立札幌みなみの杜高等支援学校のご協力をいただき、精進川沿いの花壇や校舎の周りを色とりどりのお花で飾ることができました。ご協力いただきありがとうございました。



【2年生】精進川美化緑化の会の方に来校いただき、一緒に高等部玄関の花壇やプランターへ定植をしました。どうすれば玄関を鮮やかにできるのか、花の種類や植える場所を自分たちで考えながら作業しました。



他にも1~3年生が自分で選んだ苗を定植してプランターを作りました。完成したプランターは本校駐車場や高等部の中庭に飾っています。



【1年生】市立札幌みなみの杜高等支援学校の生徒が自分たちで育てた花の苗を持って来校してくれました。一緒にプランターへ定植の作業をしたことは、同じ地域に住む学生と関わることができた貴重な経験になりました。

○北海道教育大学札幌校

## みんなのあそびば in 北ガスアリーナ札幌46/2024 やってみよう楽しいスポーツ！ ふれてみようおもしろいパラスポーツ2024 連携開催



スポーツ用車いすを使ったボール運動やスラローム、鬼ごっこなどのほか、さまざまな運動道具を使った楽しい活動を行います。障がいのあるお子さんも気軽に参加できます。特に子ども向けの運動遊びで、誰でも参加できます。

- ☆スポーツ用車いす
- ☆エアホリン
- ☆ボールプール
- ☆フリスビー

他にもたくさんあるよ！

**日時：令和6年8月4日(日) 10:30-15:30**  
**場所：北ガスアリーナ札幌46**  
 札幌市中央区北4条東6丁目  
地下鉄東西線「バスセンター前駅」8番出口徒歩10分

**参加対象：誰でも参加可！**  
**幼・小中高校生/特支学級、特別支援学校、高等支援学校等の児童生徒**  
(きょうだいやお友達も歓迎です)  
上履きは各自ご用意ください。

主催/共催/後援：札幌市/札幌市スポーツ協会、ASAPE2024組織委員会、札幌市パラスポーツ指導者協議会/札幌市教育委員会ほか  
 運営：みんなのあそびば実行委員会、ASAPE2024組織委員会、北海道教育大学特別支援教育プロジェクト

問合せ  
 みんなのあそびば実行委員会(北海道教育大学札幌校内)  
 ホームページ <http://hokutoku.net/gg/>  
 メール：asobiba.tokushi@gmail.com



## みんなのあそびば in 南区体育館 2024秋

主催・共催：みんなのあそびば実行委員会、札幌市、札幌市スポーツ協会  
 運営：北海道教育大学特別支援教育プロジェクトほか



**日時：令和6年11月9日(土) 10:00-15:00**  
**場所：札幌市南区体育館 札幌市南区川沿4条2丁目2-1**  
※当日、駐車場の混雑が予想されますので、予めご了承ください、なるべく公共交通機関までのご来館にご協力ください。

**幼・小中高校生、特支学級、特別支援学校、高等支援学校等の児童生徒だれでも参加可能◎(ご家族やお友達とも歓迎です)**  
 会場は屋内のため、外靴を入れる袋・上履きをお持ちください。

～みんなのあそびばって？～  
 トランポリンやポッチャなど普段はなかなか触れることのできない運動道具を使って遊ぶことができます。道具の使い方次第で遊び方は無限大！  
 運動の得意不得意、年齢、障がいの有無などに関わらず、安心して楽しくだれでも一緒に遊ぶことをコンセプトとしたイベントです。

問合せ  
 みんなのあそびば実行委員会(北海道教育大学札幌校内)  
 ホームページ <http://hokutoku.net/gg/>  
 メール：asobiba.tokushi@gmail.com



○北海道文教大学

支援を必要とするこどもとそのきょうだい集まれ！



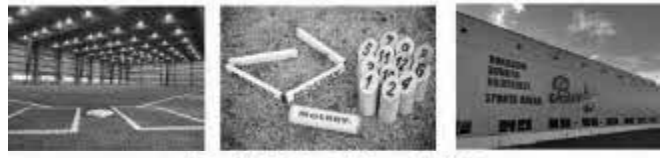
## 北海道文教大学こども発達学科 チャレンジド教室

こども発達学科の学生と一っしょに活動しましょう！  
 みなさんにお会いできるのを楽しみにお待ちしております！

**活動日**  
 金曜日 16:30～17:30

**活動場所**  
 北海道文教大学 7号館1階保育演習室2

**問い合わせ**  
 興味のある方はQRコードまたは電話からご連絡ください。  
 TEL.0123-29-8042

## 北海道文教大学 大学祭 恵華祭 特別企画 「モルック」で遊ぼう！

名称：「チャレンジド教室」に通っている親子向け特別企画「モルック」で遊ぼう！

日時：2024年10月12日(土) 14:00～15:30  
 10月13日(日) 14:00～15:30

会場：北海道文教大学 スポーツアリーナ1階  
室内は飲食禁止ですが、入場での水分補給はOKです。

内容：親子で「モルック」遊びをしよう！(写真中央)  
モルックは2セット用意しています。

対象：招待制・・・「チャレンジド教室」に通っている親子と「チャレンジド教室」に関心のある親子限定での開催。

費用：無料

持ち物：子ども～上履き、大人～上履きかスリッパ  
(人工芝には小さな粒状のゴムチップがまかれています。はだしや靴下ですと危険ですので、必ず上履きをご持参ください。大人はスリッパでもOKですが、子どもとたっぷり遊びたい方は上履き持参でどうぞ。)

スタッフ：当日は、教員の言聞は待機しておりますが、「チャレンジド教室」のように学生は配置されていません。親子での遊びを基本と致します。

2024年10月12日(土)～13日(日)は、北海道文教大学の大学祭「恵華祭」が開催されています。学生達がたくさんの模擬店を出店していますのでお楽しみに！ステージパフォーマンスもお楽しみください。



## 6 障がい者の学びを支援する人材の育成に資する研修の実施

本取組の着実な推進のためには、地方公共団体の職員をはじめ、多くの関係者の理解が必要なことから、地域連携コンソーシアム会議の構成団体からも協力を得て、オンライン形式で行う「障がい者の学びの支援入門講座」、各地域を巡回して行う「障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊」等を実施した。

### ① 障がい者の学びの支援入門講座

#### ○趣旨

障がい者の生涯学習に関する取組の実態把握や、障がいについての理解促進のため、有識者による全道各地での講演、先行的な実践事例の発表及び意見交流等を通して、本事業における社会教育をはじめとした関係者の今後の取組を推進する上での機運醸成や、学びを支援する人材の育成を図る。

#### ○内容等

講義、実践紹介、6回/年

### ② 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊

#### ○趣旨

有識者による講義や実践紹介等を通して、地域で障がい者の学びを支える学習支援者やボランティア等の、学びに関する基本的な視点や考え方についての理解を深める。

#### ○内容

講義、実践紹介、演習、体験活動

#### ○実施管内

釧路（鶴居村）、宗谷（稚内市）、留萌（羽幌町）、後志（倶知安町）

### ③ 社会教育主事講習において「特別な支援を要する人への学習支援(生涯学習支援論)」の講座科目を設定

#### ○講座

特別な支援を要する人への学習支援（講義・事例研究）

#### ○時数

3

#### ○目標

特別な支援を要する人々の学習支援の方法について理解をし、学習者に応じた学習内容や学習支援方法等があることを理解する。

#### ○担当講師

津田 英二 氏（神戸大学教授）

松井 翔惟 氏（医療法人稲生会みらいづくり研究所学びのディレクター）

## 令和6年度障がい者の学びの支援入門講座実施要項

- 1 趣 旨 障がい者の生涯学習の推進に向けて、基本的な視点や考え方、新たな取組を開始するにあたって、支援者に必要な視点や手法への理解を深める。
- 2 主 催 北海道教育委員会
- 3 期 日 全6回シリーズ（日程は下記のとおり）
- 4 開催方法 オンライン（web会議システムZoom） ※一部、オンデマンド配信
- 5 参加対象 行政担当者、社会教育施設職員、学校関係者、福祉及び医療サービス事業所職員、社会福祉協議会職員、企業及びNPO団体職員、障がい当事者の家族 障がい者の生涯学習に興味や関心のある方 等
- 6 定 員 50名（申込人数が超えた場合には抽選とします）
- 7 研修内容及び講師名

回	月 日	研修内容・講師名
1	オンデマンド 受講 8月28日配信	説明「障害者の生涯学習の推進について」 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
		説明「改正障害者差別解消法について」（解説） 北海道保健福祉部障がい者保健福祉課
2	9月9日（月） 15:00～17:00	講義「ニーズを踏まえた事業実施に向けて」 北海道医療大学 教授 志 水 幸 氏
3	9月25日（水） 15:00～17:00	実践紹介「障がい者の生涯学習の実際」 いっしょにね！文化祭実行委員会事務局長 杉 澤 洋 輝 氏 札幌ノースウィンド代表 岩 崎 圭 介 氏
4	10月10日（木） 15:00～17:00	講義「地域との連携によるウェルビーイングの実現」 北海道文教大学 教授 吉 岡 亜希子 氏
5	10月22日（火） 15:00～17:00	講義「当事者が参画する取組の実施に当たって」 医療法人稻生会 学びのコーディネーター 松 井 翔 惟 氏
6	11月6日（水） 15:00～17:00	講義「持続的な学びと余暇活動充実の重要性」 北海道教育大学札幌校 教授 安 井 友 康 氏

### 8 申 込

(1) 右の二次元コードから必要事項を記入の上、送信してください。

【申込み締切：8月21日（水）17:00】

(2) 全6回参加することを基本としますが、都合により参加できない場合には、申込時にその旨をお知らせください。

### 9 そ の 他

(1) 受講の可否については、8月23日（金）までにメールで連絡します。

(2) 本研修内で撮影した写真や映像、協議内容等を事業報告書、新聞報道、ホームページ等に利用する場合がありますので、予めご了承ください。

(3) 参加に係る個人情報、本研修に関する事務及び今後の事業案内にのみ使用します。



## 障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業「障がい者の学びの支援入門講座」 事業報告書

### I 事業の概要

#### 1 事業名

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業「障がい者の学びの支援入門講座」

#### 2 開催日時・プログラム

全6回シリーズ

1	オンデマンド 受講	説 明「障害者の生涯学習の推進について」 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
		説 明「改正障害者差別解消法について（解説）」 北海道保健福祉部障がい者保健福祉課
2	9月9日（月） 15:00～17:00	講 義「ニーズを踏まえた事業実施に向けて」 北海道医療大学教授 志水 幸 氏
3	9月25日（水） 15:00～17:00	実践紹介「障がい者の生涯学習の実際」 いっしょにね！文化祭実行委員会事務局長 杉澤 洋輝 氏 札幌ノースウィンド代表 岩崎 圭介 氏
4	10月10日（木） 15:00～17:00	講 義「地域との連携によるウェルビーイングの実現」 父親ネットワーク北海道事務局長 吉岡亜希子 氏
5	10月22日（火） 15:00～17:00	講 義「当事者が参画する取組の実施に当たって」 医療法人稲生会学びのディレクター 松井 翔惟 氏
6	11月6日（水） 15:00～17:00	講 義「持続的な学びと余暇活動充実の重要性」 北海道教育大学札幌校教授 安井 友康 氏

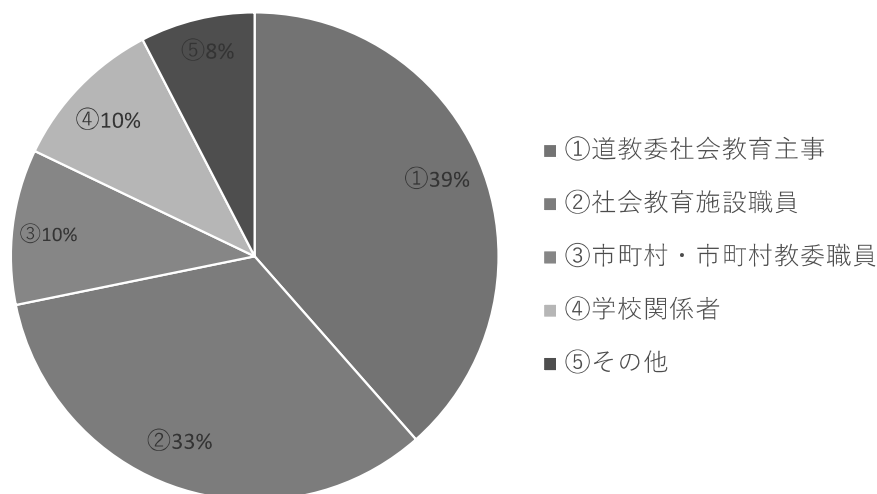
#### 3 開催場所

オンライン（Web会議システムZoom）※一部、オンデマンド配信あり

#### 4 参加人数

39名

#### 5 参加者の内訳



## Ⅱ 講座の内容

### (1) 説明「障害者の生涯学習の推進について」

- ①説明：文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
- ②内容：ア、中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理
  - イ、障害者の生涯学習をめぐる社会情勢の変化
  - ウ、障害者の生涯学習に関する現状と課題 等

「障がい者の生涯学習に取り組む意義」について中教審生涯学習分科会における議論の整理をもとに説明された。障がい理解の促進や支援者同士の学び合いによる担い手の育成などを通して障がい者の学びの場の充実を目指すことの重要性が確認された。

### (2) 説明「改正障害者差別解消法について」(解説)

- ①説明：北海道保健福祉部障がい者保健福祉課
- ②内容：ア、障害者差別解消法と改正概要
  - イ、共生社会の実現に向けて
  - ウ、合理的配慮の提供と建設的対話 等

「社会モデル」と「医学モデル」という障がいの捉え方についての説明と障害者差別解消法の改正によって目指す社会のあり方について解説された。また、合理的配慮の提供における「建設的な対話」や「無自覚な差別」について実例をもとに紹介された。

### (3) 講義「ニーズを踏まえた事業実施に向けて」

- ①講師：北海道医療大学 教授 志水 幸 氏
- ②内容：ア、令和5年度文部科学省による委託調査結果の概要
  - イ、「高等教育機関における『障がい者の生涯学習』提供モデルの開発：モデル開発に向けたニーズに関する調査研究(2021-2022)結果の概要 等

北海道医療大学が取り組んだ「高等教育機関における『障がい者の生涯学習』提供モデルの開発」という調査研究の結果を受けて、障がい当事者と教員それぞれが捉える学習ニーズの違いや大学が地域と連携して行う事業の成果や課題について紹介された。

### (4) 実践紹介「障がい者の生涯学習の実際」

- ①実践紹介者：いっしょにね！文化祭実行委員会事務局長 杉澤 洋輝 氏
- ②内容：ア、地域メディアと発信
  - イ、「いっしょに、ね」の精神
  - ウ、いっしょにね！文化祭への歩み
  - エ、ますます広がる「いっしょに、ね」

障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できる「いっしょにね！文化祭」の理念や経緯、具体的な内容等の紹介がされた。出された課題に対して、どのように解決していったか説明され、障がい者と健常者が相互に理解することの重要性が強調された。

(5) 実践紹介「障がい者の生涯学習の実際」

①実践紹介者：札幌ノースウィンド代表 岩崎 圭介 氏

②内容：ア、ケガをする前の自分と今の自分

イ、環境と心境の変化

ウ、20年目で掴んだ感覚

エ、20年振りに再会した自分に教わったこと

障がいを負ってからの心境に大きな変化があったことや車いすバスケットボールとの出会いが日々の生活に潤いを生んでいることが紹介された。障がい当事者の実体験を通して、障がい者の学校卒業後の学びの重要性について理解を深めた。

(6) 講義「地域との連携によるウェルビーイングの実現」

①講師：父親ネットワーク北海道事務局長 吉岡亜希子 氏

②内容：ア、国立市公民館～障がい者の生涯学習の取り組み

イ、むくどりホーム（札幌）～地域の子育て拠点の可能性

ウ、文教大「チャレンジド教室」～保護者のおしゃべり会の取り組み

道内外の事例をもとに、障がい者の学びを地域に生み出し、持続していくためには、地域との連携が重要であることが説明された。また、地域の歴史をよく知り、学び合いをやることのできる、社会教育を学んだ支援者の存在が重要であると強調された。

(7) 講義「当事者が参画する取組の実施に当たって」

①講師：医療法人稲生会学びのディレクター 松井 翔惟 氏

②内容：ア、社会教育実践としてのみらいつくり大学

イ、「みらいつくり大学」の実践からわかる課題と展望

障がい者の学校卒業後の学びの機会を充実させるために行う「みらいつくり大学」について、取組の経緯・学習内容・実施上の留意事項などが紹介された。オンラインを活用し、当事者の学習ニーズを尊重した取組にすることの重要性が強調された。

(8) 講義「持続的な学びと余暇活動充実の重要性」

①講師：北海道教育大学札幌校教授 安井 友康 氏

②内容：ア、障がい者が余暇活動に参加する意味

イ、関連の権利や法律の内容

ウ、ノーマライゼーションの実現と障がい者の生活の国際的な動向 等

障がい者が余暇活動に取り組むことの重要性について、障害者の権利条約の内容を紐解きながら、考えた。また、先進的な取組を行うドイツの事例が紹介され、障がい者の学びの環境を地域に作る重要性について理解を深めた。

### Ⅲ アンケート結果

- 1 本講座(全6回)により、障がい者の学びを支える学習支援者やボランティア等の、学びに関する基本的な視点や考え方についての理解を深めることができましたか。

①41%

②59%

■①とてもそう思う ■②そう思う ■③そう思わない ■④全くそう思わない

- ・ 基本的な部分から、事業の運営のことなどについても具体的に学ぶことができた。
- ・ 国内外の取組事例なども紹介いただき、配慮すべきことや実践することの大切さについて学ぶことができた。
- ・ 多様な事例や取組を参考に、どのような形で自分がこの問題に向かっていかなければならないのか、自分の考えをアップデートできた。
- ・ 障がい者の学びの支援における基本的な視点や考え方について、制度上からの視点や実践例の紹介など内容がわかりやすく解説されて、今後の業務の参考になった。
- ・ 障がい者のニーズと地域の実情(課題)の隔たりを考え方について、理解を深めることができた。学校卒業後の学びを支える仕組みを構築していくために、地域で連携した体制を整え、誰もが生涯を通じて学べる機会を保障できるよう取り組んでいきたいと思った。
- ・ 様々な立場の講師の講義により、それぞれの視点や考え方を知ることができた。
- ・ 実例を踏まえた講義だった。
- ・ 障がい者支援を進める事業を展開する際の留意点や合理的な配慮について理解を深めることができた。
- ・ 当事者のニーズをどのように具現化していくかの視点の大事さを再認識できた

- 2 本講座は、各地域における実践や支援方法の工夫を学ぶ機会となりましたか。

①32%

②68%

■①とてもそう思う ■②そう思う ■③そう思わない ■④全くそう思わない

- ・ 本講座での学びをベースに企画や運営を行うことにつながれたと感じている。
- ・ それぞれの市町村の声や人・もの・環境資源を活かした生涯学習の形を考えていく必要があり、各地域・団体の支援の仕方で参考にできるところがたくさんあった。
- ・ 講座を受講する前は、障がい者の生涯学習について、ハードルが高いイメージを持っていたが、各関係機関との連携や実践の在り様について、学ぶことができ非常に参考になった。
- ・ 地域の実情と照らし合わせて考えることができた。
- ・ 今後の研修内容を考えるきっかけとなった。
- ・ 地域の活動団体が実施する障がいの方々への事業の周知方法や障がいのある方々との関係の築き方を考える機会となった。
- ・ 障がいの有無に関わらず、小さいことから、参加しやすい内容や場所から始めようというスタート(きっかけ)が大事であることを再認識した。

### 3 本講座のプログラムの内容、構成はいかがでしたか。

①27%

②73%

■ ①大変満足 ■ ②満足 ■ ③やや不満 ■ ④大いに不満

- ・ 講座が複数回、どんなことをやるのか見通しがもててよかった。
- ・ 障がい者の余暇活動やスポーツ活動の充実についての講座が特に印象深かった。モチベーション維持が大切なことをあらためて考えさせられた。
- ・ 制度上の解説や実践例の紹介など非常にバランスのよい内容・構成だった。
- ・ 法律的な背景から事例展開へと、分かりやすく構成されていた。
- ・ 6回の講義がシリーズものではなかったので、1回出られなくても置いていかれることなく受けることができた。
- ・ 障がい者支援と生涯学習のつながりが反映されており、活動実例や障がいのある方々の意見も聞けて内容の濃いものであったと感じた。
- ・ 基本的な考えや、具体的な取り組みなどについて知ることができた。
- ・ 2時間の研修で途中の5分休憩はなくてもよいと感じた。

### 4 本講座の講義・実践紹介は参考になりましたか。

①32%

②68%

■ ①大変参考になった ■ ②参考になった ■ ③あまり参考にならなかった ■ ④参考にならなかった

- ・ 継続することの大切さを学ぶことができた。
- ・ 障がい者の生涯学習の推進に向け、市町村の取組をどのようにサポートできるかを考えながら参加した。障がい者を含む多様な方の生涯学習の場の確保に向け、どのような取組が考えられるのか、どのような整備の仕方が考えられるのか、様々な話を聞くことで、話題として広げられそうだった。
- ・ 講座の講義・実践紹介は初心者にもわかりやすく解説され参考になった。
- ・ 実践紹介等はとてもよかった。実際に動き出そうとするときに参考にしたり相談したりできる窓口が見つかったように思う。障がい者の生涯学習に関わる取り組みを始め、継続していること背景には大変な苦労や思いがあると思う。本来のものになるのは難しいが、一緒にやってみようという気楽さをもつことができればよいと感じている。
- ・ 障がい者の実践紹介は、講師の経験から語られたので、大変わかりやすく、健常者目線での捉え方、係わり方についても考えさせられた。
- ・ さらに知見が広がった。
- ・ 自分たちに何ができるか、考える機会となった。
- ・ 活動事例などの紹介から、障がいのある方々の思いや活動への要望など当事者の声を聞くことができ、実践的な活用に生かすことができると思った。
- ・ 卒業後の学びの場について、学校としてどのように伝えていけるか、また学校として学びの場をどのように提供できるのかなどを考えるきっかけになった。

5 「障がい者の生涯学習」についてさらに学びたいこと・知りたいこと等があればお聞かせください。（自由記述）

- ・障がい者を含めた全住民のウェルビーイングの実現に向けたまちづくりについて、首長部局の取組を学びたい。
- ・各地で様々な活動を行っている方々の情報など知りたい。
- ・発達障がい（特に情緒障がい）の生涯学習に渡る支援や就労支援について。
- ・事業企画や運営のシミュレーションなど、より実践に近い演習。
- ・高等部や高等支援学校卒業後において、上手く地域と繋がれなかった事例について知りたい。
- ・渡島管内で実施した障がい者を対象としたサップ体験の事例について知りたい。
- ・障がい当事者の話を聞きたい。
- ・障がいのある方々と交流を持つ事業の活動事例について知りたい。
- ・学校在学中の取組が、卒業後の学びにつながった事例について知りたい。

6 その他、感想やお気づきの点があればお聞かせください。（自由記述）

- ・じっくり学びたいテーマばかりだったが、業務中のため途中で様々な対応が入って中座せざるを得ず、集中できなかったのが残念だった。オンデマンドでも見られるようにしてほしい。
- ・双方向での講義が理想ですが、用務と重なることもあるので、オンデマンドも用意していただけると受講できた回もあったと思う。また、あとからもう一度見られると、ありがたい。
- ・国内や海外の取組を映像などで学ぶことができ勉強になった。日本では職に就く、経済的自立が主となっているところ、楽しみのために職に就くことの大切さを知り、これまでそういった考えがなかったので非常に勉強になった。楽しみをもつことでよりその人の強みも引き出され、より充実した生活を送ることが可能になると思った。
- ・教育が18歳で分かれるため、成長過程を共有しにくいのでタッチングポイントが互いの好きなことなどで必要。そうすると共通項と見慣れることが同時に果たされる。
- ・今回の講座は、非常にわかりやすく、今後の業務の指針となる内容だった。受講できなかった講座もあるため、動画配信などがあると非常に助かる。
- ・短い期間に詰まっていたので、なかなか参加も難しいところもあった。普段の業務に追われている中なので、もう少し長い期間をかけて、6回全ての参加受付ではなく毎回の参加集約のほうが、参加しやすい。
- ・今回の学びを、日々の業務にいかしていきたい。
- ・オンラインで受講でき大変ありがたい。意見や感想を述べるまでの自分の知識がなかった。
- ・海外も含め、いろいろな取り組みを知ることができ、勉強になった。失敗をあまり気にせず、できることから、小さいことからでもやることが大事であることを再度認識した。